

牧之原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（「人口ビジョン」「総合戦略」）の全体像

◆人口ビジョン

中長期展望(2060年を視野)

人口減少問題の克服

◎2060年に社人研※推計より
約5,000人の人口増

・2060年人口見通し32,500人
(社人研推計:27,590人)

●「人の流れ」を変え、人口流出に歯止めをかける

・若者の流出を止め、呼び戻す

●「出生率向上」のため、阻害要因を取り除く

・2020年に1.7、2025年に1.8、2030年に2.0

●長期かつ総合的な視点から有効な施策・事業を迅速実施

●将来世代にツケを回さない

・公共施設更新問題にも早期着手

●「選択」と「集中」の徹底

●高齢者が活躍できる社会づくり

※国立社会保障人口問題研究所

◆総合戦略(平成27年度~31年度の5か年)

将来都市像

絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEX Tまきのほら

理念

まちづくりの基本的な考え方(協働・情報共有・行政経営の適正化等)

重点戦略(重点Pの編成基準)

土地・空間利用の基本的な考え方

重点プロジェクト(◆数値目標)

“宝”子ども育成プロジェクト

子どもを産み育てやすい環境をつくる
◆合計特殊出生率1.70
◆子どもを産み育てやすいと感じる市民割合70%

“輝く”高台開発プロジェクト

魅力を感じて定住するような住環境を整備する
◆高台開発による転入者増加数600人

“魅力ある”産業雇用プロジェクト

安定した雇用を創出する
若者が働きたいと思える就業環境をつくる
◆年間新規雇用者数610人
◆市の産業は活力があると思う市民割合50%

“生き活きと”健康で活躍プロジェクト

だれもが生き活きと暮らせる地域をつくる
◆お達者度※男性17.60
女性21.70 ※65歳から元気に暮らせる期間(年)

公共施設“最適化”プロジェクト

長期にわたり安全・安心な公共施設提供する
◆維持管理経費削減割合6%
◆公共施設マネジメント容認度90%

主な重要業績評価指標(KPI※)

子育て世帯の経済的負担軽減施策の市民満足度80%

待機児童ゼロを継続

子育て楽々サポーター登録数200人

子どもを通わせたいと思える学校づくりへの市民満足度62.2%

年間企業立地件数3件(1,000㎡以上)

年間建築確認申請件数(共同・専用住宅)250件

住宅地整備・住宅情報発信の市民満足度45.1%

観光交流客数288万人

年間起業数23件

年間新規就農者数10人

農業生産法人化数34件

マッチングによる就職者数50人

地区まちづくり計画の策定地区数10地区

自発的な健康づくり活動継続地区数3地区

一般高齢者外出頻度(週4・5日以上)80%

固定資産管理システムの完全稼働100%

施設類型ごとの個別計画策定率100%

主な施策

○子育て世帯への経済的支援の充実
○待機児童の解消
○結婚、妊娠、出産、育児への情報発信、自信付け、スキルの提供
○英語スピーチ力の強化
○幼稚園、保育園、小中学校の縦の連携強化

○東名高速道路相良牧之原IC北側の複合的な用途による開発
○首都圏や海外との時間的距離の短縮を活かした研究、製造、教育施設等の誘致、住宅情報の発信

○地域資源の発掘と研鑽による魅力ある地域産業の基礎づくり
○既存企業等の新たな取組への意欲向上及び技術的な支援の充実
○農業の担い手の確保・育成とビジネス経営体の育成支援
○結びつける情報発信とマッチングの場づくり

○主体的な地域づくりの推進
・地域づくりを主体的に考える場づくり等
○地域や個人に密着した健康づくり
・地域、企業と連携した地域健康課題の取組
○高齢者の活躍の場づくり
・アクティブシニアを増やす

○公共施設データベースの構築(見える化)
・固定資産管理システムの導入
○基本方針に基づく個別計画の策定
○インフラ資産の長寿命化の推進

※Key Performance Indicatorの略